

『あればあるほど』 作：ポチ子

『あればあるほど』 作：ポチ子

幸せであればあるほど、

不幸だった時が馬鹿らしくなってくる。

何の意味も無かった。

くだらない時間だった。

私はあんなことのために、

人生の時間を使ってたんだ。

使わされてたんだ。

気づいて、

死にたくなかった。

もう時間は戻ってこないし、

傷がついた心臓はもとは戻らない。

幸せであればあるほど、

幸せになればなるほど、

心にぽっかりと穴が開く。

それは幸せでは埋められないし、

怒りでも、悲しみでも、痛みでも、

埋めることは出来ない。

その穴から、今の幸せさえ、

逃げてしまいそうな気がする。